

# 第9回大橋川景観アドバイザー会議

## 議事要旨

### 【日時・場所】

日 時 : 平成27年3月17日(水) 13:30~15:30  
場 所 : 島根県民会館303会議室

### 【出席者】

大橋川景観アドバイザー会議委員

飯野委員、足立委員、井ノ上委員、片寄委員、松本委員、吉田委員、  
舛田委員

オブザーバー

島根県 平田河川課長(代理:河川課 佐々木GL)  
松江市 井上河川課長(代理:河川課 石倉主幹)

事務局

出雲河川事務所

### 【議事次第】

開 会

挨拶(出雲河川事務所長)

委員紹介

座長挨拶

議 事

閉 会

### 【配布資料】

議事次第

席次表

資料-1 権太夫川水門整備説明資料

資料-2 上迫子川水門・排水機場整備説明資料

## 【議事要旨】

### ①権太夫川水門整備について

#### 《庇の形状、外壁デザイン、銘板(案)》

- ・特に異論なし。
- ・銘板の文言については、現時点でのものとし、今後新たな歴史的事実が明らかになった場合には書き換えを行う。

→それぞれ事務局案の通りとする。

#### 《その他》

- ・市道を走行する車が、水門の躯体に衝突する可能性があるため、花壇などで直接躯体にあたらないような工夫があると良い。

→今後、道路管理者と協議をしていく。

### ②上迫子川水門・排水機場整備について

#### 《外壁デザインの上下区分位置》

- ・上下区分位置が高いと、建物が派手に見える。
- ・背後のくにびきメッセは壁面と窓の間隔が統一されている。排水機場建屋壁面においても、上下区分位置 3.7m とした方が上部壁面の中央に窓が位置することから、壁面と窓とのバランスが整っている印象。
- ・排水機場建屋の上下区分を 3.7m の位置にすることで、上部と下部の割合がおおよそ 1/3 となる。水門の外壁においても、下部のはつり模様の壁面が高さ約 9m、その上部の打ち放し壁面が高さ約 3m と、概ね 1/3 の割合となることから、「割合」としては同じ。

→上下区分位置は、高さの 1/3 程度となる 3.7m を採用する。

#### 《庇の形状》

- ・外壁デザインの上下区分位置ともあわせて考えると、事務局案の上部 400mm・下部 300mm の庇の方がすっきりした印象。

→庇の形状については、事務局案の通りとする。

#### 《はつり模様の大きさ》

- ・はつりが大きいと雨だれ等で汚れが目立つ可能性がある。
- ・はつりが大きいと、太陽光の反射により光る部分も大きくなるので明るく見える事がある。
- ・はつりが小さい方が、遠方から見たときに濃く見える印象である。
- ・この箇所はある程度コントラストを出す必要がある。

・はつりの効果は陰影だと思われるので、その割合が同じであれば、はつりが大きくても小さくても遠くから見れば同じような明度となる。天神川水門で実際に施されたはつりに近い「はつり(小)」が好ましい。

→はつり模様については、「はつり(小)」を採用する。

以 上